

昭島市教育委員会テーマ
「楽しい学校づくり」

主な重点内容

- *すすんで学ぶ子供の育成
- *運動やスポーツが好きな子供の育成
- *自分には良いところがあると感じる子供の育成

教育ビジョン 自立と共生

学校教育目標 だれもが笑顔になる学校

目指す児童像・自ら学び、表現する子

- ・認め合い、協力して行動する子
- ・すすんで体を整える子

令和7年度の目指す児童の姿

- ・自らすすんで挨拶し、感謝の気持ちをもって生活する
- ・自分の良さを実感し、自他の心の安全を守ろうとする
- ・対話を通して論理的に課題を解決しようとする
- ・学びの主体者としてチャレンジしようとする

つつじが丘小学校は
楽しい学びの共同体

未来に向かってチャレンジできる学校
【確かな学力】【社会貢献力】【協働する力】

学校を創る当事者意識

- ・教員一人一人のマネジメント能力の向上
→学校評価と連動した改善意識の向上
- ・持続可能な社会の実現に向けた教育推進→SDGs 教育
- ・特別支援教育を全校体制で推進
→特支コーディネーターを軸とした杉の子学級・そよかぜ教室との連携と組織的対応
- ・「なりたい自分」をサポートするキャリア教育の推進
→幼保小中連携、キャリアパスポートの持続的活用
- ・未来を切り開く国際理解教育と外国語教育の推進

持続可能な自己改善による教員の授業力向上

- ・学びの共同体としての教員集団と風通しの良い職員室
- ・学習指導要領の本質を考えた授業改善→資質・能力
- ・「主体的・対話的で深い学び」の授業改善
→学力調査の分析と授業改善推進プランの有効活用
- ・発問の精選による思考の連続を促す学びの実現
→授業のコーディネートと教師のファシリテート
- ・個別最適な学びによる個々の思考の共有
→GIGA 端末の効果的な活用と ICT 機器の活用
- ・家庭学習の習慣化と自ら学ぼうとする力の育成

児童の主体性・自己有用感を高める特別活動

- ・合意形成や意思決定の力を育てる話し合い活動の充実
→特別活動大人の10の流儀を意図した実践の継続
- ・児童の自治的活動を促す児童会活動やクラブ活動
→児童が主体となる委員会、クラブ活動を継続
- ・異年齢集団の交流活動による社会性と所属意識の向上
→縦割り班活動の意図的、計画的な実施による繋がり
- ・達成感や連帯感を育む学校行事の創造
→児童会や実行委員会を中心とした児童主体の運営

教員の働き方改革

- ・野球型からサッカー型への意識転換による働き方
- ・優先順位を考えたタイムマネジメントによる校務改善

一人一人の居場所となる学校

【豊かな心】【健やかな体】【学校・地域愛】

組織で考え、組織で解決する協働体制

- ・アンテナを高くもち、報告、連絡、相談による情報共有
→職層によるラインの構築と学年会や部会での情報共有
- ・互いの違いを認め合い、尊重し合う人権教育の推進
→人権教育プログラムの活用と理解教育の充実
- ・児童一人一人が安心して学び合える学級・学年づくり
→Q-Uの活用による学級経営、昭島市UDによる教育
- ・いじめや差別を起こさない、心の安全を保障する指導体制
→いじめ対策委員会での協議による未然防止、早期発見
- ・特別支援教育の充実と個別に支援の必要な児童の対応
→校内委員会での協議、関係機関や専門機関との連携
- ・多面的、多角的に考え、自己を振り返る道徳教育の充実
→道徳教育推進教師を中心とした指導計画、指導体制確立
- ・全職員での支援体制による安全な給食指導
→生活指導全体会等によるアレルギー対応と感染防止

自ら体を整える力の育成

- ・自ら健康管理ができる児童の育成
→「グッドモーニング60分」「元気アップガイドブック」
- ・児童の「からだ力」の向上
→元気アップタイムの実施、体力調査に基づく授業改善
- ・心と体をコントロールできる姿勢と呼吸の指導
- ・生活習慣の見直しと健康な生活の推進
→食育と健康教育の年間計画に基づいた実践

保護者・地域とのつながりと連携を重視

- ・コミュニティ・スクールの役割を理解した教育活動
- ・登下校の安全[地域学校共同本部の見守り、PTA との連携]
- ・安全教育[交通・生活・災害安全]
- ・地域人材の活用[指導計画とリンクした人材リストの活用]
- ・子供や保護者の心に寄り添う教育相談の実施[SC と連携]
- ・想定外の危機回避体制づくり[危機管理マニュアル]

つつじが丘小学校を創る7つの視点

- 1 教育が未来を拓くという思い
- 2 教職員が心を開く
- 3 児童や社会の役に立つ
- 4 当事者意識で学校づくり
- 5 組織で考え、組織で動く
- 6 保護者、地域とのつながりを大切に
- 7 心と体の健康管理を心がける

「チームつつじが丘」は学びの共同体 ～職場の風通し～

- 相手を尊重する気持ちで良好なコミュニケーションに努める。
 - 挨拶は自分から。挨拶を交わし合う関係をつくる。
 - 困ったときはお互い様。相互依存できる関係をつくる。
 - 互いに声をかけ合えるオープンな関係でサービスを徹底する。
- 教職員、都事務、市事務、用務主事、栄養士、給食職員、学校管理員、講師、EA、専門員、介助員、ALT、支援員、SC、副校長補佐、SSS、SSW
- ・PTA、地域(地域学校協働本部、ウィズユース、自治会)との連携
 - ・関係諸機関(市教委、特別支援学校、子ども家庭支援センター、児童相談所、アキシマエンス等)との連携

学校教育目標

だれもが笑顔になる学校

- 子供たちにとって「自分の居場所となり、学びの楽しさを実感し、未来に希望がもてる」学校
- 教職員にとって「子供の成長を共に実感し、自信と働きがいを感じる」学校
- 保護者、地域にとって「安心感と信頼感をベースとした誇りに思える」学校

つつじが丘小のみんなが、安全な環境の中で安心して毎日を過ごし、感動を共有できる学校であることが一人一人の笑顔につながり、児童、保護者、地域の方にも夢や希望をもって楽しく、学び合える学校になっていく。

一人一人が夢や希望をもち、成長を実感できること

めざす児童像

みずから学び、表現する子（知）

→問題意識をもち、解決のために主体的に考え、表現する力を身に付けている子

課題解決に向け、学んだことを生かしながら粘り強く探求し続けたり、学ぶことの楽しさを知り、自分を高めようとしたりする子供の育成を目指す。6年間で育てたい力と心→自分のことを自分で考え、選択し、決定できる。

認め合い、協力して行動する子（徳）

→相手の立場で物事を考え、行動する態度を兼ね備えている子

相手の個性を認め、受け入れることで、自分を大切にするように相手も大切にしながら、周りの人間と協働して取り組もうとする態度を養う。6年間で育てたい力と心→人との上手なかかわり方を学び、人の役に立つ喜びを感じ、相手のことを考えて行動する。

すすんで体を整える子（体）

→基本的な生活習慣を身に付け、心身ともに健康な子

「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣が身に付いており、登校の60分前には起床する等、基本的な生活習慣を身に付け、心身ともに健康でたくましく生きようとする態度を養う。6年間で育てたい力と心→自分の身体を大切にし、整える方法を身に付ける。

めざす学校像

未来に向かってチャレンジできる学校

これからの時代に必要な「生きる力」を身に付けさせるため、学校の役割を果たし、保護者・地域の信託に応える開かれた学校

一人一人の居場所となる学校

児童一人一人が集団の中で自己有用感を感じ、自分の良さを発揮し、他者を尊重しながら共に喜びを感じられる学校

めざす教師像

- (1) 楽しくわかる授業を目指し、研究と修養に努め、授業力向上に励む教師
- (2) 人権感覚を磨き、真摯な姿勢で子供に接し、子供たちから信頼される教師
- (3) 保護者の思いを受け止め、家庭及び地域と連携、協働できる教師
- (4) 当事者意識をもち、組織の一員としてチームで職務を推進しようとする教師
- (5) 謙虚な姿勢で教育公務員としての自覚と責務を果たそうとする教師